

KG復興研 連続公開セミナー第4回

南海トラフ巨大地震への備え 高台まちづくりの展望と課題 ～串本町・すさみ町における行政施策～



南海トラフ巨大地震で犠牲者のでる想定被災地は30都府県にのぼり、人口減少、少子・高齢化社会が進展するなかで、住民の命を守り、地域をどのように存続させるのか、自治体にとっては大きな課題である。本州最南端の串本町と隣接するすさみ町は、国の被害想定では震度7の激しい揺れに見舞われ、最大18～20mの津波の襲来する恐れがある。それぞれ独自の施策で高台まちづくりと防災対策を進めており、両町の町長による報告に続き、1993年7月12日に発生した北海道南西沖地震の大津波で被災した奥尻島の復興プロセスの報告から、地域存続に向けた行政施策の展望と課題を探る。

日時 2018年9月26日(水) 13:30～17:00

会場 和歌山東漁業協同組合 串本漁港水産物卸売市場（串本魚市場）
交流体験室（和歌山県東牟婁郡串本町串本1884番地）

主催 関西学院大学 災害復興制度研究所 **共催** 串本町・すさみ町

●プログラム

13:30 開会挨拶 山中 茂樹(関西学院大学 災害復興制度研究所 顧問/日本災害復興学会 特別顧問)

13:35 趣旨説明 野呂 雅之(関西学院大学 災害復興制度研究所 主任研究員・教授)

13:40 報告 ① 田嶋 勝正 氏 (串本町長)
「串本町の防災対策～地震・津波から生き残るために」

14:10 報告 ② 岩田 勉 氏 (すさみ町長)
「すさみの挑戦～コンパクトビレッジ構想」

14:40 報告 ③ 定池 祐季 氏 (東北大学災害科学国際研究所 助教)
<小憩> 「北海道・奥尻島の復興プロセス」

15:20 パネル討論

田嶋 勝正 氏 (串本町長) 岩田 勉 氏 (すさみ町長) 定池 祐季 氏 (東北大学災害科学国際研究所 助教)
岩田 孝仁 氏 (静岡大学防災総合センター 教授) 司会 野呂 雅之 (関西学院大学災害復興制度研究所 主任研究員・教授)

入場無料
事前予約要

●申し込み方法 (参加ご希望の方は、下記宛にメール・お電話・FAXにてお申込み下さい。)

関西学院大学 災害復興制度研究所

TEL 0798-54-6996 FAX 0798-54-6997

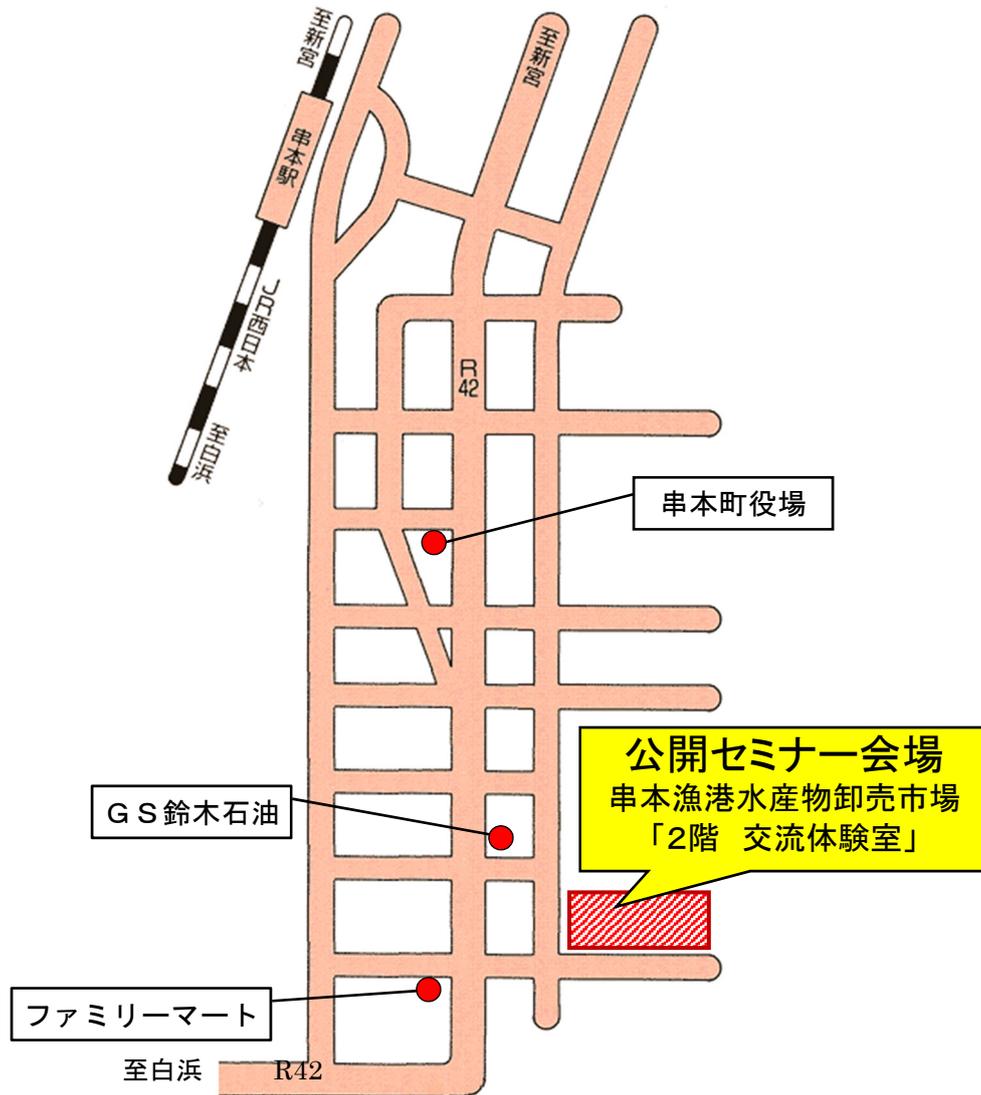
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

http://www.fukkou.net/ Email:kgu_fukko2005@fukkou.net



会場案内

和歌山東漁業協同組合 串本漁港水産物卸売市場（串本魚市場） 交流体験室（和歌山県東牟婁郡串本町串本1884番地）

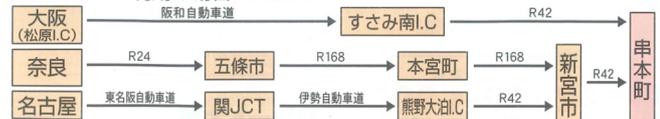


ACCESS 交通のご案内

■列車をご利用の場合



■自動車をご利用の場合



JR
私鉄
高速・自動車専用道路
主要道路